

- 企画力
- 試作
- 多品種小ロット
- 短納期
- コスト相談



本社社屋

機械設計・製造

秀峰自動機株式会社

顧客の要求に応え、自動化装置をオーダーメイド

主な事業内容

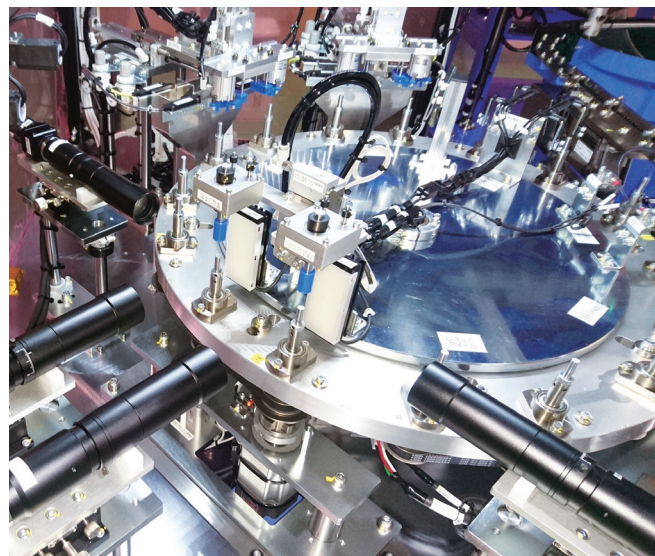
自動化・省力化機器の設計・製作、検査・組立装置の設計・製作

主な製品

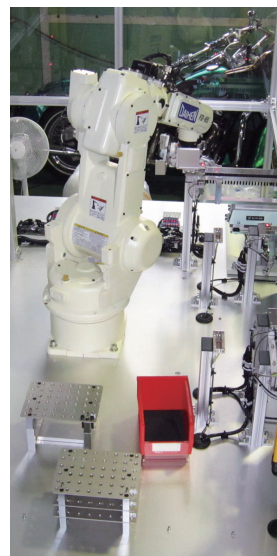
自動組立装置、自動包装機、自動検査装置、自動集積装置など



買い物かご殺菌装置「かごキレイ」



様々な製品の自動化装置を開発



ロボット導入事例も増えている

事業内容と沿革

リスクが大きいからこそ、やりがいのある業務

生産設備の自動化装置をオーダーメイドで設計・製作している。昭和62年、栗山貢社長のおじにあたる栗山武氏が生産設備の設計・製作で創業した。運送業を営んでいた栗山貢氏は武氏に引き込まれる形で入社。当初は「自動機が何かもわかっていなかった」が、装置の組み立てや調整作業を先輩社員から指導を受けるうちに、金属をヤスリで研磨する作業に時間を忘れて没頭したという。自分の力で装置が形になっていくものづくりの楽しさに心を奪われた。ある時には、鳥取県の工場から設備に不具合が発生したと呼ばれ、状況確認のために駆けつけた。現場を見ると、図面を書いて部品からつくる必要があった。栗山社長はいったん宇治の会社に戻ってからと考えていたが、顧客の要求は「今すぐ直してほしい」というものだった。現地には穴を空けられるボール盤と切断用の高速カッターしかない。それでも工夫しながら夜遅くまでかかって設備を復旧した。顧客の要望に沿った自動化装置をつくりあげるといことは、一品一様の初号機を常に製作しなければならず、しかも決められた納期に完全な状態で動作することを求められる大変な仕事。栗山社長は「チャレンジとリスクが一杯の仕事」と言いながらも、それだけに「日々ワクワクした気持ちで取り組めるやりがいのある仕事」と笑う。

強み

自動化のノウハウに自信、プログラミングも可能

同社は強みとして7項目を挙げている。「営業」必ず他社とは違う提案ができる。「提案」長年の経験から抜群の創造力がある。「調達」多岐に渡り、協力企業とのお付き合いがある。「製造」確かな技術をもち、装置いじりが好きなメンバーの集団。「品質管理」お客さまにお見せする前に必ず社内で品質チェックを実施する。「納入」即日稼働を目指し、立ち上げの速さには自信がある。「メンテナンス」納入後も責任を持って誠意のある対応をする—といった内容である。顧客に対して明確に強みを示す裏には、自動化設備に関するノウハウを

積み上げてきた自信がある。一品一様の設備を設計、製作し続けてきたためノウハウは豊富な上に、新たな技術に関して積極的に学んできた。例えば最近、自動化のためにロボットを導入する企業が増えているが、同社はロボットを有効に使用するためのプログラムを組むことができる。同社と競合する自動化設備企業の中でも「ロボットプログラムやシーケンサープログラムを組める企業は少ない」と栗山社長は自信をのぞかせる。世の中のない装置をつくり出す自動機的设计・製作はものづくりの視点では確かに面白いが、商売としては困難を伴いがちだ。顧客満足のために手をかければかかるほどコストがかかり、十分な利益は生まれない。このため栗山社長は自動機をつくる仕事に誇りを持つ一方、自社製品の開発を夢見てきた。新型コロナ禍で仕事量が減少した令和2年には全社一丸となって回復に向かうため、買い物かごを入れると自動で深紫外線を照射して殺菌する装置「かごキレイ」を開発した。初めての自社製品開発は、マーケティングや評価試験、特許取得など初めての経験尽くしたが、メディアにも取り上げられ話題を呼んだ。販売が爆発的に伸びたわけではないが、社員が前向きになる効果が大きかった。自社製品を売るためのネットワークもでき、今後の布石を築くことができた。

今後の展開

社員、家族への感謝忘れず

「自動機的设计、開発の仕事が大好き」と広言する栗山社長と社員の気持ちがかい離した時期があった。どんどん新しい知識を吸収していく栗山社長はいつしか社員にも同じ事をするよう押しつけていた。年上の社員から「あなたは短時間でできて、他の人はできないかもしれない」と諭され、我に返った。「この会社を何とかしようという気持ちは社員も同じ」と気づき、「社員は宝」を口癖にするようになった。以来、仕事に没頭する社員を支えてくれる家族にも感謝を忘れないよう、社員の妻や母親の誕生日には会社から花を贈っている。同社はこれまで宇治市の本社を拠点に、関西、中四国の顧客を中心に取引を続けてきた。栗山社長は「いつか顧客の多い北関東に進出したい」という思いを抱いてきた。新型コロナ禍による業績悪化で足踏みしたが、近い将来には埼玉県を候補に拠点を設ける。積み上げてきたノウハウを武器に、北関東から東北へとエリアを広げていく。

日本一の提案型自動機メーカーを目指す

現代の自動化設備に欠かせないのがロボット技術です。様々な動きを見せてくれるロボットもプログラム無しには動きません。私たちは「カラクリ」から「ロボット」まで色々なアプローチでご満足いただけるシステムを提案、日本一の提案型自動機メーカーを目指して走り続けます。ご期待下さい！



代表取締役 栗山 貢さん

京都マラソンを完走！が夢です

住所	〒611-0043 京都府宇治市伊勢田町中山62番11
TEL	0774-41-3205
FAX	0774-41-3206
創業	昭和62年9月
設立	平成3年5月
資本金	1,000万円
従業員	15名

<http://shuho-as.co.jp/>

